サウジ、イランの漁師射殺
断交の両国、新たな火種

ペルシャ湾で17日、イランの漁船が対岸のサウジアラビアの沿岸警備隊に銃撃され、漁師1人が死亡した。イランメディアが同日、報じた。イランはイスラム教シーア派、サウジは同スンニ派の地域大国。シリアやイエメンの内戦をめぐり両国は対立を深め、昨年1月に断交。最近もカタール断交やイランでのテロをめぐり互いに非難しており、新たな火種で緊張の激化が懸念される。（テヘラン＝杉崎慎弥、ドバイ＝渡辺淳基）

サルマン国王　ハメネイ師

サウジアラビア →	対立	← イラン
反体制派を支持	シリア内戦	アサド政権を支持
暫定政権を支持	イエメン内戦	反体制派を支持
スンニ派	主な宗派	シーア派
親米	対米国	反米
断交	対カタール	支援

イランのファルス通信などによると、17日早朝、イランの漁船2隻が同国南のペルシャ湾で操業中、悪天候による高波で流されたという。その際、サウジの沿岸警備隊が漁船に向けて銃撃を始め、漁師の男性(42)が腰付近を撃たれて死亡したという。

漁船が銃撃された場所の詳細は不明だが、イランメディアによると、漁船が高波でペルシャ湾南のサウジ側に流され、サウジ領海に入った可能性もあるという。イランメディアの一部は、漁船がサウジの石油掘削機械に近づいていたと報じた。

イラン内務省のアガババイ国境問題担当局長は17日、「サウジの沿岸警備隊は、漁船がサウジ領海に入ったかを確認せず銃撃を始めた」とし、「サウジの行為は人道的ではない。国際法の原則とも相いれない。もし漁船が高波の影響でサウジ領海に入っていたとしても、サウジには漁船に向けて銃撃する権限はなかった」と非難したという。

一方、サウジ側からは声明は出ていない。ただサウジは、ペルシャ湾でイランの船舶を常時警戒しているとされ、今回の銃撃につながった可能性がある。

「覇権」巡り対立

イランとサウジは「中東の覇権」をめぐり対立を続けている。シリア内戦をめぐっては、イランはアサド政権を、サウジはスンニ派の反体制派をそれぞれ支援し、事実上の代理戦争になっている。イエメン内戦でも、サウジはハディ暫定大統領派を支持し、イランが支援するシーア派の反政府武装組織「フーシ」への空爆を続けている。

今月上旬にはサウジがエジプトなどと共に、カタールとの国交断絶を発表。カタールが「イランの支援を受けてサウジやバーレーンで活動するテロ組織を支援している」として、「制裁」したのだ。

サウジの国境封鎖などで孤立するカタールに対し、イランは生鮮品を輸送するなどして全面支援し、サウジに対抗している。

イランでは7日、首都テヘランで国会などを狙ったテロが発生。スンニ派の過激派組織「イスラム国」（IS）が犯行声明を出したが、イランではサウジが関与したとみる声が強い。

最高指導者のハメネイ師は9日、「テヘランでのテロは、米国とサウジアラビアへの嫌悪感を増加させただけだ」と批判。精鋭部隊の革命防衛隊の幹部も13日、「サウジがテロを起こさせた正確な情報を得ている」と発言した。

一方、サウジでも、イランへの敵対心はかつてなく高まっている。イランがシーア派主導のイラク政権やレバノンのシーア派組織ヒズボラだけでなく、中東各地のシーア派勢力に対し、影響力増大を狙っているとサウジ側は警戒している。

中東に詳しいエジプト人ジャーナリストのムハンマド・アラファ氏は「現状ではイランは冷静に対応している。だが、サウジが問題を深刻化させれば、両国の武力衝突につながる可能性もある」と指摘した。

こたえ

十五夜の月

江戸時代、江戸・吉原のお菓子屋が、十五夜の月を意味する「最中の月」という名の薄くて丸いお菓子を作ったのが始まりと言われているよ。

2641

モスル旧市街地へ突入
IS掃討 イラク軍など

イラク軍や治安部隊は18日、過激派組織「イスラム国」（IS）が最大拠点としてきたイラク北部モスルの旧市街へ、3方向から突入作戦を始めた。ISのモスル最後の支配地域だ。イラク軍によると、旧市街に残るIS戦闘員は推定で500人以上。10万人以上の市民を「人間の盾」にしており、市街戦は難しい局面に入った。

旧市街には、最高指導者バグダディ容疑者が演説したモスクがある。ISにとっては象徴的な場所で、激しい抵抗が予想される。イラク軍は拡声機で投降を呼びかけ、「投降しなければ死が待っている」と心理戦も実行している。

現在の支配地域は旧市街の約4平方キロ。IS戦闘員は自爆攻撃や狙撃で抵抗を続けている。国連は旧市街に民間人約15万人がいると推定。イラク軍幹部によると、ISは民間人を強固ではない建物内に閉じ込めて「人間の盾」にしているという。道幅は狭く、イラク軍は装甲車両を使えないため、歩兵部隊を展開し、通りや建物を一つ一つ解放する作戦を取っているという。

イラク軍と協力して対IS掃討を進めている有志連合の報道官、ライアン・ディロン米陸軍大佐は朝日新聞の取材に「進軍するのは非常に難しい状況。しかし有志連合は情報提供や上空からの偵察でイラク軍を支援している。ISが過去に使ってきた戦術も分かっている」と話した。（アルビル〈イラク北部〉＝其山史晃、翁長忠雄）

韓国、慰安婦合意検証へ
世論沈静化・対日関係改善狙い

韓国の文在寅（ムンジェイン）政権は、2015年末の慰安婦問題の日韓合意について、大統領府で合意の過程を検証する方針を固めた。複数の日韓関係筋が明らかにした。文大統領は5月の大統領選で「合意の破棄と再交渉」を選挙公約としたが、政権発足後は、慰安婦問題で明確な方針を示していない。検証作業を通じて韓国世論の沈静化を図り、日本側との妥協点を探りたい考えだ。

複数の日韓関係筋によれば、具体的な検証作業は、7月に行う予定の日韓首脳会談後に始まる見通し。日本政府が10億円を拠出することになった経緯や少女像の移転問題との関連などについて、当時の関係者の証言や記録などを検証する。

検証は合意の破棄や再交渉を前提とせず、検証作業が終わるまで日韓合意はそのまま維持されるという。日韓合意は条約や関連法を伴わない政治的な約束という位置づけのため、国会議員などは含めず、政権内の検証にとどめるという。

関係筋の一人は「公約に再交渉や破棄という言葉を入れたのは、（合意に反発する）市民団体への配慮という側面が強かった」と説明する。文政権は検証作業を行って慰安婦問題をめぐる方針づくりの時間を稼ぎ、その間に首脳間の信頼関係の構築を急ぐ考えだ。北朝鮮問題を念頭にした対日関係改善の動きの一環だ。

また、大統領府は13日、新たな女性家族相候補を指名した際、「合意の再交渉など緊急懸案の解決について期待する」と説明したが、後にこの部分を削除した。いったん過去の選挙公約を参照して説明文を作ったものの、日韓関係に配慮して削除したとみられる。

文政権は慰安婦問題を含む歴史認識問題とその他の問題を分離する方針。5月に訪日した文大統領特使団の参加者の一人は「再交渉や破棄という言葉を使えば、日本は対話に応じない。幅広く歴史認識問題を協議できるやり方を考え出すべきだ」と語った。

韓国側が対日関係の改善に動く背景には、北朝鮮問題がある。文政権は外交の最優先課題として南北対話の推進を掲げるが、北朝鮮は軍事挑発を続けている。また、米韓関係は最近、米軍の高高度迎撃ミサイルシステム（THAAD（サード））の配備などをめぐって混乱。安全保障を考えた場合、米国に加えて日本との関係悪化は避けたいとみられる。（ソウル＝牧野愛博）

韓国外相 康氏任命
女性初 野党は「不適格」

康京和氏
＝東亜日報提供

韓国の文在寅大統領は18日、外相に康京和（カンキョンファ）・元国連事務総長特別補佐官を任命した。韓国で女性外相の誕生は初めて。康氏は学者出身で、外交通商相（当時）補佐官を経て、2003年から国連で勤務し、グテーレス現事務総長の特別補佐官も務めた。

文氏は18日の任命式で「外交省は韓国最高のエリートの集まり」と語る一方、「今少し、外交官の奮起が必要だ」と指摘。日米中韓を中心とした外交を超え、「外交の多元化が必要だ」と語った。康氏も「組織内の文化を大きく変える必要がある」と述べた。与党関係者は、康氏の起用について「女性で、（エリートの典型と言われる）外交官試験合格者でもソウル大出身でもない。改革姿勢を示すために絶好の人材」と語った。

ただ、康氏は今月上旬に開かれた国会の人事聴聞会で、外交政策について不明確な答弁を連発。実際に住んでいない場所を居住地として届け出る「偽装転入」など過去の不祥事も発覚した。一方で2日には、元慰安婦らが共同生活を送るナヌムの家（京畿道広州市）も訪れ、「政治的な行動」との批判も浴びた。野党は「外相として不適格」として、国会同意にあたる人事聴聞会の報告書採択に応じなかった。（ソウル＝牧野愛博）

核兵器禁止条約の制定を求めてデモ行進する被爆者ら＝17日、ニューヨーク・マンハッタン、松尾一郎撮影

核禁条約成立求め被爆者らデモ NY

核兵器禁止条約の交渉会議が開かれている米ニューヨークの中心部で17日、数百人が条約の成立を求めてデモ行進をした。国際NGO「婦人国際平和自由連盟」の主催。渡米中の広島と長崎の被爆者も加わり、「ノーモア・ヒロシマ、ノーモア・ナガサキ」と声を上げながら、雨が降る中、約1・5キロを歩いた。

また、国連本部近くの広場ではデモ参加者が交代で演説した。長崎で被爆した和田征子（まさこ）さん(73)＝横浜市＝は「原爆がもたらした苦しみが繰り返されないよう被爆者は訴え続けてきた」「ともに核兵器の禁止を実現しましょう」と訴えた。条約交渉会議の議長国コスタリカのホワイト大使も登壇し、「条約制定に努める」と語った。

デモに参加した被爆者の箕牧智之（みまきとしゆき）さん(75)＝広島県北広島町＝は、「土砂降りの雨なのに、これだけ多くの人が『ヒロシマ、ナガサキ』と、叫んでくれた。感謝している」と話した。（ニューヨーク＝真野啓太）

森林火災 62人死亡
ポルトガル 落雷原因か

ポルトガル中部レイリア地方で18日、消火活動をする消防士＝ロイター

ポルトガル中部レイリア地方で森林火災が広がり、18日までに少なくとも62人が死亡、50人以上が負傷した。AFP通信が当局者らの話として伝えた。ポルトガル政府は、落雷が原因との見方を示している。

火災発生が確認されたのは17日。死者には車内で焼死体で見つかった人も目立つという。火災が広がった地域で逃げ切れず、車ごと炎に包まれた可能性がある。（パリ＝青田秀樹）

マクロン新党、大勝の見通し
仏総選挙、決選投票始まる

フランス総選挙（下院選、定数577）の決選投票が18日、始まった。マクロン大統領の新党「共和国前進」が、定数の7割に達する400議席超を得て「1強」となるとの予測が大半だ。ただし、棄権が51%にのぼった第1回投票と同様に低投票率にとどまるとの見方もあり、巨大与党の正統性に影を落とす可能性がある。投票は、午後8時（日本時間19日午前3時）まで。即日開票され、深夜（同19日朝）には大勢が判明する見通しだ。（パリ＝青田秀樹）

もっとなめらかに回転すれば、
もっと省エネできる。
NTNのベアリングはそう考えた。

世界中の自動車に使われているNTNのベアリング技術。
なめらかに回転することで摩擦によるエネルギーロスを低減。
自動車の燃費向上に役立っています。
たとえば、エンジンやモーターの力を効率よくタイヤに伝える技術。
わずか数mmのタイヤの動きも検知するセンサー技術など。
もっとなめらかで、もっとエコなドライブのために。
NTNは、独自のベアリング技術を進化させていきます。

世界をなめらかにする仕事。 NTN

NTN株式会社 〒550-0003 大阪市西区京町堀1丁目3番17号 TEL.06-6443-5001 www.ntn.co.jp